

平成24年度 議会評価結果表 (平成23年度決算事業)

区分	事務事業名	担当部署名	整理No	議会評価 (7段階評価)	評価理由、改善内容、提案事項等
1	バス路線対策事業	企画部 企画課	03-003	5 改善し継続する	将来は高齢化など交通弱者の増加が考えられるので、市民ニーズを的確に捉え、よりきめ細やかな運行をすることなど、運営方法や事業補助を模索する必要がある。例えば、バス路線では、バスの小型化やバス乗車によって特典(スタンプ制で特典付)を付けること、運営方法では、事業主体を市民組織・NPOなど多様な運行体の検討を行い、将来に向けての運営方法、事業補助などもバス事業者と綿密に模索していく必要がある。
2	市民協働推進事業	企画部 市民協働課	04-010	5 改善し継続する	各自治区等で行っている活動も市民協働と捉えることで、啓発にも繋がり市民協働認識も浸透すると考える。「市民協働推進計画」が策定されて半年であり、「市民協働」の概念について改めて考える必要がある。他部署にも協働事業があり、議会として今後の「協働」事業の展開を注視したい。
3	消防団事業	総務部 防災交通課	09-010	5 改善し継続する	必要性は高いと判断したが、有効性・効率性・妥当性については今後の期待値を含めた評価とした。今後は、大規模災害等に対して、消防団活動の期待は大きい。よって、女性消防団員の増員・確保、実働可能な消防団員である機能別団員確保、団員募集等のPR、市内事業所と協力するなど連携を強化し、更なるこの事業の向上を望む。
4	災害対策事業	総務部 防災交通課	09-016	5 改善し継続する	行政の自己評価は「A」となっているが、自主防災会と行政の連携や自主防災会どうしの更なる連携が必要である。また、防災訓練方法(季節、地域特性、非難情報伝達)の見直しや防災リーダーの更なる育成などを行い、自助・共助・公助それぞれの役割認識や意識を高めていくことも重要である。自助・共助である自主的な防災活動は特に重要だが、市民任せでは問題意識の継続や課題解決は難しいと考えるものであり、行政がいつそうの牽引的役割を果たすよう求める。
5	災害対策資機材整備事業	総務部 防災交通課	09-018	5 改善し継続する	家庭で準備できることは自分で準備する「自助」意識の啓発や、浸水の可能性がある地域に必要な資機材整備などを行うと共に、各自治区の連携を強化する。また、自治区と協力して、資機材の点検、管理及び使用方法など「共助」「公助」の改善を望む。